

クラス	TU322	担当教員	篠原 眞紀子
テーマ	音・音楽でつながる 環境～人～教育～福祉～社会～		
著書・論文 研究課題等	<p>論文等：「初等教育におけるインクルーシブ教育に向けて——歌唱共通教材の分析と授業構想による提言」『関西楽理研究』第 35 号，2020 年，63-84.；「障がいのある人の自己実現に向けた音楽学習—重複障がいのある Hさんと太鼓を通しての関わり合いより」『関西楽理研究』第 30 号，2013 年，283-287；「歌念仏は地域の風習を移す」『武庫川女子大学生活美学研究所紀要』第 4 号,85-98. 共著論文「四万十川上・中流域のくらしと音楽—藤ノ川地区—」『神戸大学発達科学部紀要』第 3 巻 2 号，1996 年，453-468.</p> <p>共著出版：『3 コードで OK.なるほどかんたん！リズム曲集——保育・教育現場で楽しく弾けてすぐに役立つ』2015 年，サーベル社.</p> <p>著書：『人と成ること——恵那地方の地域生活運動』2021 年，晃洋書房，</p> <p>研究課題：音・音楽，音楽教育と障害学の結合</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：サウンド・エデュケーション，創造的音楽学習，インクルーシブな音楽教育			
<p>【目的】 音・音楽を中心にして，環境，教育，福祉，社会について，みなさんの研究テーマに沿って考えます。</p> <p>【方法とその内容】 音・音楽と人の中には，アクションして音楽を作り出していくような部分と，音楽を受けとめていく側面があります。たとえば，小学校での音楽の授業を考えてみると，基礎的に身につけてもらいたいことは踏まえた上で，もっと児童が表現したいことを展開していくような創造的音楽学習というものがあります。一方，みなさんにも経験があるかと思いますが，音楽を聴くことは私たちに大きく影響を及ぼすことがあります。また，音楽を受けとめると自然や環境と一体になるような五感がよびさまされてくることもあります。このゼミでは固定的な音楽の教材だけに偏らず，ジャンルも問わず，音・音楽について考えます。みなさんそれぞれの興味・関心のある音楽で考えていってください。一応内容例をあげておきます。「音・音楽によるパフォーマンスアート」「サウンドスケープ」「サウンド・エデュケーション」「音楽で学校～地域との連携」「インクルーシブな音楽教育」「障害の理解と音楽」等。</p> <p>【授業計画】</p> <p>3 年前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマを議論し合いながら深める *やってみたいテーマに沿った実践やフィールドワークについて検討します。(たとえば，テーマ周辺の先行研究・実践活動見学・連携づくり・授業づくり・パフォーマンスアートなど) ○実践やフィールドワークに必要な準備をする(リサーチ・マネージメント) <ul style="list-style-type: none"> —音楽を演奏したり実践してみたい希望者には実技力の習得をサポートします。 —音楽の授業運営の希望者にはどうしたら音楽の授業ができるのか，授業づくりについてサポートします。 —音楽作品や音の録音などによる作品をつくりたい希望者にはアーカイブを作るためのサポートをします。 —障害と音楽に興味のある人には障害理解と音楽の援助方法を学んでいけるようにします。 <p>3 年後期 実践／フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケーススタディ 実践やフィールドワークで，つまづいていること，困っていることを相談し，改善していきます。 ○希望者には共同学習を行います。(例：地域のみなさんと「美浜の音発見」サウンドウォーク，サウンドマップづくり，バリアフリーなミュージックワークショップなど) <p>4 年次は卒業研究を中心に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中間に構想発表会(仕上げまでの感触を確かめて現実的なロードマップを立てていきます) →○卒業研究仕上げ作業(必要な場合は討議・検討していきます) →○卒業研究発表 			
担当教員からのメッセージ			
<p>みなさん初めまして。私は音楽教育を担当します。音楽教育を行いながら，フィールドワークをして伝承音楽のアーカイブ化を行い，音環境や文化も含め誰もが生きやすい社会モデルについて考えてきました。また，障害児者とともに音楽活動し，その中で地域に開かれた学校のインクルーシブな音楽教育，福祉的援助について考えてきました。音楽そのものに興味がある人，音楽を教育や福祉につなげてテーマを考えてみたいという人，門をたたいてみてください。音楽を障害に結びつけていこうとする人も大歓迎です。卒業研究に向けてサポートします。まだ赴任前のため、質問等に直接お答えすることができません。赤石先生に仲介をお願いしておりますので、何か不明な点等ありましたら、赤石先生 (akai.shi@n-fukushi.ac.jp) の方にメッセージをお送りください。折り返し、私の方からの返答をお送りいたします。</p>			